

瀬戸市
高齢者総合計画実態調査
報告書

令和5年3月

愛知県 瀬戸市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象及び調査方法	1
3	回収数・回収率	2
4	報告書の見方	2
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果	3
1	回答者の家族や生活状況について	3
2	からだを動かすことについて	11
3	外出について	13
4	食べることについて	20
5	毎日の生活について	24
6	地域での活動について	34
7	あなたとまわりの人の「たすけあい」について	39
8	健康について	44
9	今後の生活について	51
10	認知症について	54
11	要介護リスクの状況について（一般高齢者）	57
III	在宅介護実態調査の結果	63
A票	調査対象者について	64
B票	主な介護者について	73
IV	第8期経過介護実態調査の結果	80
1	分析の視点	80
2	要介護者本人の状況について	82
3	主な介護者等の状況について	90
4	支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて	93
5	主な介護者の就労状況について	97
6	介護生活を続ける際の不安や困りごとについて	101

V	介護人材実態調査の結果.....	102
1	事業所票（訪問系／施設・通所系）.....	102
2	職員票.....	106
VI	介護休業制度等実態調査の結果.....	112
VII	居所変更実態調査の結果.....	118
VIII	圏域別の状況について.....	124
1	地域課題分析の視点.....	124
2	地域課題の分析.....	126

I 調査の概要

1 調査の目的

令和5年度に予定している「瀬戸市高齢者総合計画」の見直しにあたり、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、瀬戸市（以降、「本市」という。）における課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として、本調査を実施しました。

2 調査対象及び調査方法

全体で6種の調査を実施しました。調査別の実施概要は以下のとおりです。

	調査種別	調査内容・対象	調査方法	調査期間
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	高齢者の要介護リスクや生活の状況、支援ニーズ等について、瀬戸市に居住する要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の人の中から無作為に抽出した2,500名を対象に実施。	郵送配付・郵送回収	令和4年 12月13日～ 12月27日
2	在宅介護実態調査	要介護者の在宅生活の継続に向け、有効な介護サービスや支援、家族介護者の支援ニーズ等について、瀬戸市に居住する65歳以上で要介護認定を受けている高齢者及びその主な介護者である家族・親族を対象に実施。	認定調査員による聞き取り調査	令和4年 10月17日～ 令和5年 1月31日
3	第8期経過介護実態調査	要介護状態の変化とそれに関わる生活・介護の状況等について、前回の第8期計画策定にあたり実施した在宅介護実態調査（令和元年度）の対象となった高齢者213人とその主な介護者である家族・親族を対象に実施。	郵送配付・郵送回収	令和4年 12月13日～ 12月27日
4	介護人材実態調査	介護人材の確保に関する実態について、瀬戸市内に事業所のある①訪問系サービス事業所全数（61事業所）【訪問系事業所票】、②施設・通所系サービス事業所全数（122事業所）【施設・通所系事業所票】、③訪問系サービス事業所の介護職員【職員票】を対象に実施。	郵送配付・郵送及びウェブ回収	①②令和4年 12月22日～ 令和5年 1月24日 ③令和5年 1月6日～ 1月27日
5	介護休業制度等実態調査	介護休業制度の利用状況等の現状について、瀬戸商工会議所に入会している会員企業2,074事業所を対象に実施。	郵送配付・郵送・FAX・ウェブによる回収	令和5年 1月6日～ 1月27日
6	居所変更実態調査	入所施設における入居・退去の実態について、瀬戸市内に事業所のある施設系サービス事業所を対象に実施。	郵送配付・郵送及びウェブ回収	令和4年 12月22日～ 令和5年 1月24日

3 回収数・回収率

アンケートの回収結果は以下のとおりです。

	調査種別	配付数	有効回収数	有効回収率
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,500	1,950	78.0%
2	在宅介護実態調査	-	374	-
3	第8期経過介護実態調査	213	159	74.6%
4	介護人材実態調査			
	訪問系事業所票	61	18	29.5%
	施設・通所系事業所票	122	66	54.1%
	職員票	-	301	-
5	介護休業制度等実態調査	2,074	442	21.3%
6	居所変更実態調査	64	25	39.1%

4 報告書の見方

- 本調査結果については、前回調査で同様の設問があるものについては、基本的に前回調査結果と今回の調査結果を併記して示しています。R4年と表記しているのが今回の調査結果、R1年と表記しているのが前回の調査結果です。
- 回答結果の割合「%」は集計対象者総数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、選択肢からいずれか1つの選択肢を選ぶ設問であっても合計値が100.0%ちょうどにならない場合があります。
- 複数回答（特に表記のない場合は、当てはまる選択肢をすべて選択する形式）の設問の場合、各選択肢の回答割合の合計が100.0%を超える場合があります。この形式の設問については、質問文の末尾に「複数回答」と表記しています。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（回答者を限定する設問の限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- 本文中の設問・選択肢は簡略化している場合があります。
- 地域ごとの状況を示すため、圏域（日常生活圏域）別に集計結果を示していることがあります。本市の日常生活圏域は5圏域となっており、それぞれに含まれる連区は下記のとおりです。

北部	道泉・深川・水野・西陵	西部	效範・水南
東部	古瀬戸・東明・品野（品野・下品野）	南部	山口・本地・菱野・新郷・原山台・萩山台・八幡台
中部	祖母懐・陶原・長根		